

令和5年7月14日
国土交通省関東地方整備局
相武国道事務所

工事発注手続きについて

～「R5国道20号調布（2）共同溝換気口設置他工事」の発注手続きを行います～

「R5国道20号調布（2）共同溝換気口設置他工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取り止めや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R5国道20号調布（2）共同溝換気口設置他工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 競争参加資格の緩和
2. 間接工事費実績変更方式
3. 材料単価の公表
4. 見積活用方式
5. 余裕期間制度（発注者指定方式）
6. 難工事指定

※詳細については次頁以降をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 相武国道事務所

電話：042-643-2001（代表） FAX：042-643-2320

副所長 今村 忠彦（いまむら ただひこ）（内線：204）

工務課長 山田 正人（やまだ まさひと）（内線：411）

《工事概要》

本工事は、一般国道20号の調布市東つつじヶ丘地先において、調布（2）共同溝における立て坑、換気口及び擁壁工を施工するものです。

- (1) 工事名：R5国道20号調布（2）共同溝換気口設置他工事
- (2) 工事場所：東京都調布市東つつじヶ丘地先
- (3) 工期：令和5年10月20日から令和6年12月27日まで（発注者指定方式）
（余裕期間：契約の翌日から令和5年10月19日まで）
- (4) 入札方式：一般競争入札 総合評価落札方式（施工能力評価型II型）
- (5) 工事種別：一般土木 C等級又はB等級
- (6) 工事内容（概要）：路面覆土工

覆工板・覆工板受桁	約200m ²
土留め・仮締切工	
H鋼杭	62本
切梁・腹起し	約8t
現場躯体工	
コンクリート	約470m ³
鉄筋	約50t
支保	1式
排水構造物工	
管(函)渠型側溝	400m
擁壁工	
地盤改良（粉体噴射攪拌）	20本
L型擁壁工	80m

《不調・不落対策等》

1. 競争参加資格の緩和

1) 対象等級の拡大

競争参加社数が少数と見込まれることから、対象等級をC等級からC等級又はB等級に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績をカルバート工に限定せず、「道路における現場打ちの鉄筋コンクリート構造物を施工した工事」として緩和をします。

2. 間接工事費実績変更方式

○実績により変更を行う工種

・ 共通仮設費（率分）のうち、「安全費」、「営繕費」

○実績により変更を行う理由

本工事は、東京都調布市内における、自動車交通量の多い国道20号であり、工事箇所の沿道は住宅街であり、現在、車道中央部に常設作業帯を設け、現道切り回しを行っている箇所です。

安全費について、交通量（39,000台/日）が多い現道上の工事であり、また、人口密集地域のため、関係機関との協議等により、安全施設等の設置に要する費用が多くなるのが想定されます。

また、営繕費について、現場事務所、労働者宿舍の借り上げに要する費用は、工事箇所が住宅街であるため、「営繕費」について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが想定されます。

このため、「安全費」、「営繕費」において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されることから、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）について変更する『間接工事費実績変更方式』を試行します。

3. 材料単価の公表

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

4. 見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち、立て坑及び換気口の以下に係わるもの。

路面覆工（覆工板・覆工板受桁、コンクリート取壊し運搬処理、受桁基礎、覆工板・覆工板受桁）、土留・仮締切工（床堀、埋戻し、連続壁撤去(1)、連続壁撤去(2)、連続壁撤去(3)、H鋼杭、H鋼杭(中間杭)、切梁・腹起し・設置・撤去、横矢板）、掘削工、埋戻し工、現場打躯体工（基礎材、均しコンクリート、コンクリート、鉄筋、型枠、支保工）

○見積の提出を求める理由

本工事は、住居連担地域における交通量が多い現道での作業であること、立て坑躯体の地下4，5階層は既に完成しており、本工事では3階層からの構築であること、換気口構築時の仮設位置にNTT管が埋設されていることから、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

5. 余裕期間制度（発注者指定方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が指定した工事の始期（令和5年10月19日）までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

6. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道20号において、常設作業帯内への資機材搬出入、交通規制を行いながら常設作業帯の切替を行うことから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	：令和	5年	7月14日（金）
○競争参加資格確認申請書及び資料の提出期限	：令和	5年	7月31日（月）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	：令和	5年	8月22日（火）
○開札日	：令和	5年	9月15日（金）